

平成 31 年 3 月 8 日 理事会承認

平成 31 年 3 月 20 日 評議員会承認

平成 31 年度

事業計画書

社会福祉法人 黎明会

特別養護老人ホーム オーキッド

法人理念

地域と共に歩む誠実な介護

基本方針

誠実な対応を心がけ、一人ひとりの思いを大切にします
世代を超え誰もが安心して暮らせるまちづくりに貢献します
専門性を磨き、働きがいのある職場づくりを目指します
常に新たな介護ニーズに対応できるよう何事にも挑戦します

平成 31 年度 事業方針

法令を遵守しながら事業を推進し地域における介護の拠点を目指します。経営環境の厳しい中、職員一丸となって目標が達成できるようにします。介護サービスのための職員の資質向上を目指し研修を計画します。専門性を確保するため、介護福祉士取得を目標に実務者研修の開催に関係機関と協力した取り組みを進めます。災害等における非常用備品の確保や建物全体での災害訓練などを積極的に行います。

施設経営計画

- ① 特養年間ベッド稼働率 98%を目指します。
短期入所年間ベッド稼働率 98.5%を目指します。
- ② 損益を適正に評価し安定した運営を行う。

部門目標

【運営】

- ① 介護保険サービスの質を担保するために、専門家による第三者評価を実施いたします。
- ② 福祉人材の確保、資格取得によるキャリアアップ支援を積極的に活用する。
- ③ 理念・方針の周知、部門間の情報連携を強化、ガバナンス機能の構築を目指します。目標達成に向けた組織づくりを実施いたします。
- ④ 災害対策の強化を行い、必要物品などを揃える。

【事務】

- ① 事務処理の適正化
 - ・ 個々が責任を持ち、財務・経理・給与・労務等の管理において、常に正確かつ迅速に処理を行い、事務処理を適正化します。
- ② 自己啓発・能力開発の実施
 - ・ 施設事務管理の中心としての自覚を持ち、新たに情報の収集・知識の獲得・能力開発に努め、従業員が業務を円滑に行えるよう努めます。
- ③ 支出の削減
 - ・ コスト管理を行い、支出の見直しを行い経費の削減に努めます。実態に応じた支出を行い、無駄をなくし、施設の運営を健全に行えるよう努力する。

【特養相談員】

- ① 相談援助
 - ・ 入所者様、家族様に対してコミュニケーションを図り、信頼関係が築けるよう努めます。
 - ・ 入所者様の置かれている状況や、心理面を理解し、落ち着いた気持ちで過ごして頂けるよう精神的なケアや関わりを心がけます。
- ② 専門性の向上と能力開発
 - ・ 相談員としての専門性を高め、加算の取得や地域連携に尽力し、施設運

営を支えるとともに研修会に積極的に参加し、自己の能力開発に努めます。

③ 稼働率の安定を図る

- ・ スムーズに入所が行えるように随時面談を行い、待機者の管理を行いません。
- ・ 特養とショートステイの稼働が合わせて 98%以上を維持するように、入院者の空きベッドを活用していく。

【特養介護】

① ユニットケアを理解し個別ケアへの取組み

- ・ ユニットのあり方を考え「ユニットケアとは」をミーティング等で発信しながらより良いケアが出来るように努めます。
- ・ 入所者様の立場になって考え、家庭的な雰囲気作り、身体的、精神的に安定した生活を送ることが出来るように援助します。
- ・ 四季折々の行事計画を行い、余暇を有意義に過ごしていただける雰囲気作りを行う。また、ニーズに合ったクラブ活動に参加して頂き充実感を得られるように援助します。

② 職員の質の向上

- ・ 研修等に積極的に参加し、その内容を職員間で共有しスキルアップに繋げるユニットミーティングを開催し、職員それぞれの思いや考えを発信し実行します。

【短期入所相談員】

① 相談援助

- ・ 在宅での生活状況を聞き取り、家族様や関係機関と連携し、在宅生活を継続できるよう支援します。
- ・ 利用者様、家族様のニーズや意向を尊重したプランを立案し実行します。
- ・ 常に関係機関や家族様との連携に努め、相談や依頼をして頂きやすい対応を心がけます。

② 稼働率の安定を図る

- ・ 緊急時や困難ケースにも柔軟に対応できる体制づくりを目指します。
- ・ ショートステイとして、毎月平均 98%以上の稼働を目指し、部署間で連携し特養の空きベッドも有効に使用していきます。

【短期入所介護】

- ① 個別支援、付加価値のあるサービスの提供
 - ・利用者様のプライバシーを十分に配慮し、一人一人に合わせた援助をします。
 - ・最低限の介護サービス以外に余暇の過ごし方やイベント等を企画、立案、実行し利用者様の心に残るものを提供します。
- ② 職員の意識、技術向上
 - ・重度な方や緊急な対応が出来るように、施設内外の研修に参加し知識と技術の向上を目指します。
 - ・利用者様や家族様からの要望を適切に対処し、事故の防止に努めます。

【医務】

- ① 保健、衛生、医療
 - ・生活ニーズを優先し、生活の基本となる活動に問題はないかアセスメントし、生活上に起こるリスクを予測し、早期発見に努めます。
 - ・状況の把握と対応の為、委託医との連絡調整を密にします。
- ② 感染予防対策
 - ・施設全体の感染症発生を予防するために啓発、情報発信をします。
 - ・各種感染症の予防、発症時の対策として疾患別にマニュアルに基づいた対応を行います。
- ③ 看取り対応
 - ・利用者様、家族様、他職種と連携し安心して看取り介護が出来るように援助します。
 - ・看取り対応への職員間の認識を統一させるために看取りカンファレンスを実施し、尊厳ある最期を迎えることが出来るよう努めます。

【栄養】

- ① 委託給食会社と連携して、安全で利用者様に喜ばれる食事を提供できるように努めます。
- ② 他職種と情報交換を行い、利用者様の栄養状態を把握し、栄養計画書の作成及び経口維持加算を実施できるように努めます。
- ③ 食中毒などの知識や情報を他職員や家族様に向けて発信します。

【介護支援専門員】

- ① 利用者様の思いに寄り添い、個々に応じたサービス計画書の作成を行います。
- ② 利用者様、家族様が安心して快適に過ごして頂けるように努めます。

【機能訓練】

- ① 個別リハ
 - ・動作訓練、創作活動、野外活動など個別性を出して機能訓練を行います。
 - ・介護職と協働しながらプログラムを立案し、フロアリハビリも含めて機能訓練を実施します。
- ② 短期利用者の機能訓練
 - ・ホームページや広報誌などで広く知ってもらい積極的に実施する事で、短期利用者の機能訓練実施の拡大を図ります。

【会議・委員会】

入所者の多様なニーズや生命の保全を勘案し、下記の会議や委員会を行います。

会議・委員会	日時	目的
管理者会議	毎週	施設の運営会議を行う。幹部にて業務実績の報告や課題を討議する。苦情報告等。
全体会議	月 1 回	施設の運営に対して、各業務の見直しやサービス向上に向け話し合う。各部署間の連携を強化する。施設全体の教育・研修の立案と実施。
看取り会議	月 1 回	施設内の看取りにおいて検討する。
労働安全衛生委員会	月 1 回	職員の労働環境などを検討する。
介護リーダー会議	月 1 回	介護業務における業務の見直しを協議する。介護職員向けの教育スケジュールを立案し実施。
入所判定会議	月 1 回	入所の妥当性を明らかにするため、定期的に入所判定指針に基づき判定する。
リスク委員会 虐待予防委員会	月 1 回	事故・ヒヤリの検証。虐待や身体拘束事案を検討。
給食委員会	月 1 回	委託業者とともに、給食の改善点、希望などを検討。

感染委員会 褥瘡予防	月 1 回	入所者や職員に対して感染症等から少しでも被害が最小限となるため、未然に防ぐことを目的とする。
レク・行事委員会	月 1 回	定期的に行事を開催することで、日常生活において季節感と楽しみもっていただく行事の企画運営。
身体拘束廃止委員会	3 ヶ月 1 回	定期的に入所者の身体拘束について話し合い、必要に応じて開催し、適時身体拘束について検討していく。

【施設内研修計画】

月	テーマ	研修目標	担当
4	年度目標・倫理綱領など 介護保険制度	施設の目標・方針を認識し日々の業務に務める。 改正介護保険の制度理解を深める	施設長 相談員
5	看取り研修	ターミナルケアの基本的な考え方、手順を理解する	看護主任
6	感染予防研修（食中毒）	食中毒の種類や感染予防の理解を深める	管理栄養士
7	接遇について	日常的な接遇マナーを見直す。ビジネスマナーを理解し、 社会人として身につけておくべき接遇を学ぶ	施設ケア部長
8	身体拘束廃止・虐待防止研修	高齢者虐待防止法の理解、日常ケアのあり方を考える	リスクマネジメント委員
9	褥瘡対策研修	褥瘡の理解を深め、褥瘡予防の対策をとる	感染委員
10	医療研修	介護施設における、医療の重要性と日常ケアを理解する	医務
11	介護技術についての研修	移乗、移動動作の方法など基本的な介護技術を習得する	ユニットリーダー
12	感染予防研修	インフルエンザ。ノロウイルスについて学び、まん延防止 方法を理解する	感染委員
1	認知症ケアについての研修	認知症ケアについて理解を深め、日常のケアに反映する	認知症介護実践リーダー
2	救急研修（AED）	救急の手順や AED の使用方法を学ぶ	外部講師

平成 31 年 3 月 8 日 理事会承認

平成 31 年 3 月 20 日 評議員会承認

3	リスクマネジメント研修	リスクマネジメントの取り組み、潜在的なリスクへの対応方法を学ぶ	リスク委員
---	-------------	---------------------------------	-------